

令和2年度当初予算の要求状況について

○令和2年度一般会計当初予算要求額

5,653億円

(令和元年度6月補正後予算比 +380億円、+7.2%)

今後、県税収入や地方交付税の見積り、国の予算案も踏まえつつ、現在議論を重ねている「奈良新『都』づくり戦略」に添って取り組むこととし、予算編成作業を進めてまいります。

※ 国予算の動向等により、予算案の内容が要求時と変わる可能性があります。

○主な歳出の増要素

奈良県コンベンションセンターの運営

奈良県大規模広域防災拠点整備

(仮称)奈良県フォレスト・アカデミーの開校準備

桜井県営住宅建替整備

出所者等の就労の場づくりの推進

社会保障関係経費(幼児教育の無償化、後期高齢者医療関係費、介護給付費負担金、障害者自立支援給付費等)

高等教育の無償化(私立専門学校、県立大学、県立医科大学等)

奈良県道路公社(平成31年3月末解散)清算金の事業基金への積立て

県債管理基金を活用した繰上償還に伴う公債費(元金)の増

臨時・非常勤職員の制度改正(会計年度任用職員制度の導入等) など

○主な歳出の減要素

奈良県コンベンションセンター等整備

登美学園・筒井寮建替整備

児童扶養手当給付費 など

資料① 令和2年度当初予算要求の状況(イメージ図)

資料② 令和2年度当初予算要求の状況(性質別)

資料③ 令和2年度当初予算要求の状況(部局別)

資料④ 政策課題別予算要求状況(主な事業)